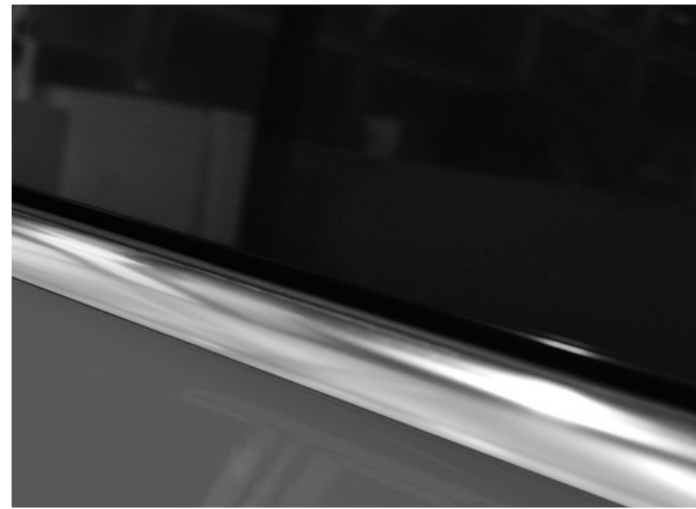
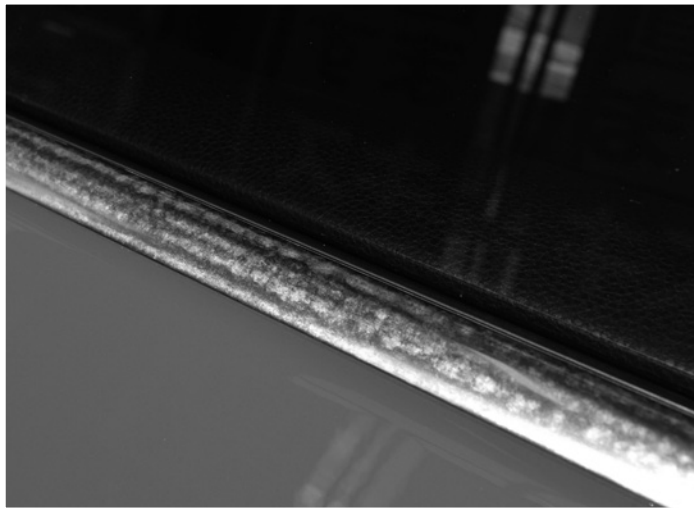


ヨーロッパ車限定

白サビ取り (モールクリーンシート)

作業マニュアル



KeepPer
COATING FOR SMART CAR LIFE

白サビ取りで使用するツール



白サビ取り 作業の流れ

1	マスキング作業	P1
2	モールドクリーンシート 青で白いシミ取り	P2
3	モールドクリーンシート 赤で整える	P3
4	ベースポリッシュで整え、ツヤを出す	P4
5	アクアポリッシュ2で仕上げ、脱脂する	P5

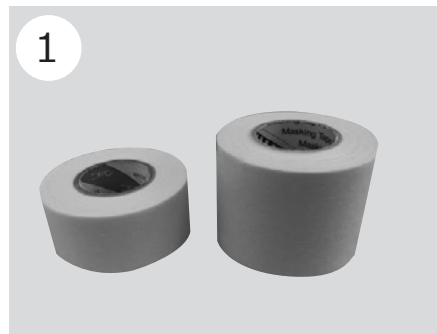
白サビ取り後、アルカリブロックキーパーを施工

※「アルカリブロックキーパー」の作業内容は別途マニュアルを参考ください

1. マスキング作業

目的: 塗装面など金属モール付近のパーツの養生

- マスキングは2種類用意します。
際をしっかりと養生するためのマスキングテープ24mmと、
広範囲にカバーするための幅広いマスキング40mm(推奨)を使います。
- 際を養生するマスキングテープ24mmは2重に貼ります。

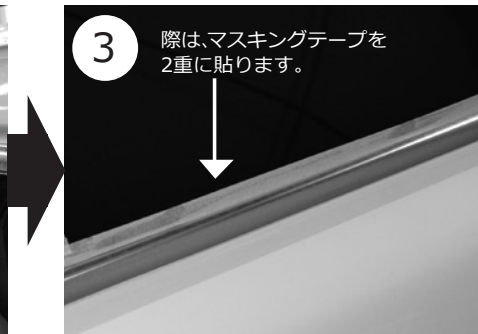


1



2

マスキングテープ24mmで際を養生します。



3

際は、マスキングテープを2重に貼ります。

際は、マスキングテープを2重に重ねて養生します。



4

その周りを広範囲にマスキングテープ40mm(もしくは24mmを2周)で養生します。

2. モールクリーンシート 青で白いシミ取り

目的: 金属モールの白いシミを除去する作業



シートを水で軽く湿らせから、専用スポンジに巻きます。



水で軽く湿らせたキーパークロスを使って、金属モールを軽く湿らせます。



鉄粉取りの粘土作業と同様に、**力を入れすぎず、軽くすばやく動かして磨きます。**



作業した個所をキーパークロスで拭き、白いシミが除去できているか状態を確認しながら作業します。

この作業で白いシミを落としきります。

ポイント

- 深い磨き目を残さないため、**金属モールと水平方向**に磨きます。



- 適度(白いシミが落ちにくくなったら)にシートの変えて作業してください
※シートは表面・裏面どちらも使用できます。
(ドアモール1本にシート半面全体が使用目安)

注意

- カドをまたがないように注意してください。
- 侵食がひどく白いシミが落ちない場合、同じ箇所を10往復以上磨いても状態が変わらなくなったらそれ以上磨かないでください。
※磨き過ぎると下地が出てしまう場合があります。
- 『ヨーロッパ車の金属モール(アルミ合金)専用です。』
カラー塗装されたモールや、日本車などのメッキモールには使用しないこと。
ヨーロッパ車でもバイザーに付いているモールは、アルミ合金ではなくメッキモールです。

3. モールクリーンシート 赤で整える

目的: モールクリーンシート青の磨き目を整える



1 シートを水で軽く湿らせから、専用スポンジに巻きます。



2 水で軽く湿らせたキーパークロスを使って、金属モールを軽く湿らせます。



3 鉄粉取りの粘土作業と同様に、**力を入れすぎず、軽くすばやく動かして磨きます。**



4 作業した個所をキーパークロスで拭き、モールクリーンシート青の磨き跡が整えられてるか確認しながら作業します。

ポイント

- 深い磨き目を残さないため、**金属モールと水平方向**に磨きます。



- 適度にシートの面を変えて作業してください
※シートは表面・裏面どちらも使用できます。
(ドアモール2本にシート半面全体が使用目安)

注意

- カドをまたがないように注意してください。

4. ベースポリッシュで整えツヤを出す

目的: モールクリーンシート赤の磨き目を整える・ツヤ出し



1
マイクロスポンジに
ベースポリッシュまたは
ミラーポリッシュを適量つけます。



2
スポンジの滑りが悪くなら
液剤を付けたす。



3
作業した個所をキーパークロスで
きちんと拭き取り、拭き残しが
無いよう仕上がり確認をしてください。
①～③の工程を全体に繰り返す。

作業手順とポイントについて

- 乾いた状態で作業します。
(手作業なので水があると仕上がりにくい。)

注意

- 使用するマイクロスポンジは、
他のケミカルと併用をしないでください。

5. アクアポリッシュ2で仕上げ、脱脂する

目的:仕上げ磨き・ベースポリッシュの油分除去(脱脂)



1
マイクロスポンジに
アクアポリッシュ2を適量つけます。



2
スポンジの滑りが悪くなら
液剤を付けたす。



3
作業した個所をキーパークロスできちんと拭き取り、
拭き残しが無いよう仕上がり確認をしてください。
①～③の工程を全体に繰り返す。

※作業後、湿らせたキーパークロスで拭いて
しっかりと油分が除去できているか
(水弾きがないか)確認してください。
確認後、水分を拭き取ってください。

作業手順とポイントについて

- 乾いた状態で作業します。
(手作業なので水があると仕上がりにくい。)

注意

- 使用するマイクロスポンジは、
他のケミカルと併用をしないでください。

アルカリブロックキーパーを施工

「アルカリブロックキーパー」の作業内容は別途マニュアルを参考ください

